

はっくつ 2016

弥生時代後期の大溝を発見

下鈎（しもまがり）遺跡

弥生時代



弥生時代後期の大溝（東方向から）



大溝出土弥生土器の壺

下鈎遺跡は弥生時代後期（2世紀）の大型建物（床面積40㎡以上）をもった集落が存在していたことで全国的に知られていますが、過去の調査では大型建物が3棟確認されています。そのうち2棟は河川に沿った場所に存在し集落の中心部とされています。その中間にあたる空間には祭祀場と推定される遺構も確認されています。遺物では銅鏃22点、前漢鏡、銅環、青銅品製作のための鑄型、銅滓が出土し、さらに朱をつくるための石杵も発見され、銅製品や朱の生産を中心に行っていた集落とされています。

これまで、下鈎遺跡の大型建物が存在する中心部については、その範囲がはっきりしていませんでした。しかし今回の調査で東側を区切ると推定される大溝（幅3～5m、深さ1.3～1.6m）が確認されたことにより、河川と大溝を併用して大型建物の存在するムラの中心部（推定長径約250m、短径約100m以上）を

区切っていたことが明らかになりました。

また大溝の出土遺物で注目されるものとして、表面を赤く塗った木製の高杯があります。何らかの儀式で使用されていたものと思われ、下鈎遺跡の優位性を示す出土品といえます。（近藤）



大溝出土木製朱塗り高杯

古墳時代前期の方墳を発掘

小柿（おがき）遺跡

古墳時代



遺構検出状況



方墳完掘状況



小槻の森

小柿遺跡は葉山川左岸の沖積地、標高97m～98mに立地し、縄文時代から中世にいたる遺構・遺物が見つっています。

今回の調査は、治田西小学校の東隣で、集合住宅建設に先立ち実施しました。検出した古墳は、古墳時代前期（3世紀後半～4世紀）の方墳です。古墳の墳丘は削られていて埋葬施設は失われていましたが、方形に掘られた周溝の三辺を確認しました。その規模は一边14m、周溝の幅は2.3m、深さ80cmです。周溝からは土器が複数出土し、その特徴から古墳時代前期の築造と判明しました。

方墳の北方約50mには「小槻の森」と呼ばれる小さな森があり祠が祀られています。江戸時代に編纂された「栗太志」には、森を畑にした時に刀剣が出土したと記されていて、ここが古墳であったことが分かります。小柿遺跡や隣接する中沢遺跡からは削平された複数の円墳や方墳見つっていますが、唯一小槻の森だけに古墳の面影が残されています。

（佐伯）

掘立柱建物や溝から緑釉陶器が多数出土

狐塚（きつねづか）遺跡

平安時代



調査風景



灰釉陶器碗と緑釉陶器碗



緑釉陶器皿

狐塚遺跡は、安養寺山の北西麓に位置する遺跡で、縄文時代から江戸時代に至る複合遺跡です。

今回の調査地は葉山川の左岸、近世東海道の東に位置し、標高は約103mです。

調査地の大半は旧河川でしたが、調査地北端部の微高地上から平安時代の掘立柱建物2棟と溝を検出しました。掘立柱建物の一棟は長辺が6間で14.5m、短辺は1間のみの検出で2.2m以上の規模です。溝は幅2.4m～3.4m、深さは30cm～60cm、長さ6mを検出しました。これら掘立柱建物や溝、その周囲から検出された土坑などから緑釉陶器、灰釉陶器、白磁、黒色土器、土師器、須恵器などが出土しましたが、なかでも緑釉陶器は、碗・壺・皿など、器種器形が分かるものだけでも60点以上が出土しました。長さ40m、幅6mの狭い調査区で、このように多量の緑釉陶器が発見されたことは特筆すべきことで、一般集落とは異なる性格を考えさせられます。その他、「碗形滓」と呼ばれる鍛冶炉の底に溜まった不純物がお碗状に固まったものが複数出土していて、この地で鍛冶が行われたことが分かりました。（佐伯）

飛鳥時代と平安時代後期の集落

小柿（おがき）遺跡

古墳時代～平安時代



2棟並んだ飛鳥時代の掘立柱建物



曲げ物を積み上げた平安時代後期の井戸

小柿遺跡南部の調査区では、古墳時代の河川、飛鳥時代から平安時代後期の掘立柱建物、井戸、溝などが確認されています。

飛鳥時代の掘立柱建物は、調査区南側に約5mの間隔を置いて2棟存在しています。2間（3.8m）×2間（3.9m）の総柱建物1棟と、おそらく同様な建物構造と推定されるものがもう1棟見つっています。2棟の建物はやや軸をずらしながら建てられており、建物の構造から性格的には倉庫と推定され、地形に合わせて建物が並んでいたイメージが浮かびます。

平安時代後期については、5間（10.6m）×3間以上（6.3m）の建物が1棟確認されています。その東側には井戸（1.7m×1.4m、深さ1.6m）が存在し、さらに東側には集落を区画していたと推定される溝が南北方向に延びています。

これらの遺構は、古墳時代から存在した河川が埋まった後につくられています。

（近藤）



平安時代後期の掘立柱建物

はっくつ 2016—栗東市話題の発掘調査—



発行日 2017年3月31日
編集発行 公益財団法人栗東市体育協会
〒520-3011
滋賀県栗東市下戸山47番地
栗東市出土文化財センター内
TEL 077-553-3359
FAX 077-553-3514
印刷 株式会社スマイ印刷